

質問日	令和3年6月4日(金)			質問方式	分割方式		
質問順位	2	会派名	日本共産党浜松市議団	議席番号	3	氏名	落合 勝二
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 地球温暖化対策の取組について	<p>昨年延期された国際的な地球温暖化問題を話し合う気候変動枠組条約第26回締約国会議は、本年11月1日から12日に開催される。</p> <p>延期に当たり、エスピノザ事務局長は「新型コロナは人類が直面する緊急の脅威であるが、最も大きな脅威は気候変動であることを忘れてはならない」と訴えた。</p> <p>人類の経済活動によって引き起こされた地球温暖化による気候変動は、今本気になって対策を取らなければ限界点を超越制御不能に陥ると言われている。</p> <p>本年1月にはバイデン米政権はパリ協定に復帰し、4月には気候サミットが開催され、参加各国が温室効果ガスの2030年中間目標引き上げの方向を打ち出し、日本も2013年比で46%削減を表明した。</p> <p>本市においては、本年4月に「浜松市地球温暖化対策実行計画」を改定している。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 本市における、温室効果ガス削減の2030年中間目標引き上げの方向性をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 本市における、温室効果ガス排出量の最大は運輸部門であるが、具体的な対策について伺う。</p> <p>また、家庭系ごみの廃棄物処理に係るごみ収集車の対策について伺う。</p> <p>(3) ごみの削減は温室効果ガスの排出抑制につながることから、どのような方針で取り組んでいくのか伺う。中でも、生ごみの資源化の現状について伺う。</p> <p>(4) 廃プラ類やビニール類の分別回収を徹底し、ケミカルリサイクル、マテリアルリサイクルに重点を置き、サーマルリサイクルを減少させていく考えはないか伺う。</p> <p>(5) 日本全体では、温室効果ガスの最大排出源は発電所であり、わけても石炭火力からの排出が大きい。本市は、「浜松市域RE100」を推進しているが、国のエネルギー基本計画での電源構成は、石炭火力や原子力発電に大きなウエートがある中、本市では2050年再生可能エネルギー100%を実現することは困難が予測される。</p> <p>そこで、再エネ発電のそれぞれの目標やポテンシャルについて伺う。</p> <p>(6) 公共交通の利用促進は、温室効果ガスの排出抑制に大きな効果がある。</p> <p>そこで、自転車や自家用車から公共交通への乗継ぎを改善し利用促進を図ってきた整備状況と、今後の取組について伺う。</p>						藤田環境部長 " " " " 藤野産業部長 井熊都市整備部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
2 マイクロプラスチックについて	<p>環境省資料によると、世界全体での年間プラスチック生産量は、2015年には約4億トンで、そのうち、年間約500万から1300万トンが海洋へ流出していると推計されている。その多くがマイクロプラスチック化し、海洋生物や人間の生存に脅威を与えている。陸上発生 of マイクロプラスチックの排出源はプラスチック、車タイヤ摩耗粉、建築道路塗装片などがある。</p> <p>2010年推計の国別では中国及び東南アジアからの流出が多く、日本は30位で年間2万から6万トン流出している。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 日本におけるペットボトルのリサイクル率は、PETボトルリサイクル推進協議会資料によれば85.8% (2019年度) であり、生産量は前年比3%程度減少しているが、かなりの量がボトルのままやマイクロプラスチック化して海洋流出していると考えられる。民間事業者にはペットボトル飲料を取り扱わない動きも出ている中、市として削減のための取組をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 下水道処理場におけるマイクロプラスチックの除去はどの程度であるのか伺う。</p> <p>また、汚泥の有効利用の実態について伺う。</p>	<p>藤田環境部長</p> <p>朝月水道事業及び下水道事業管理者</p>
3 気候変動への対応について	<p>地球温暖化に伴う巨大台風や極端な豪雨、干ばつや熱波などの異常気象が慢性化している。</p> <p>今年も4月14日フィリピン東方海上で発生した台風2号は、驚くことに最低気圧895ヘクトパスカルを観測したが、このような極端な異常気象への対応が必要となっている。</p> <p>こうした中で、治水の基本的スタンスを流域全体で捉えていく「流域治水」の手法が導入され、天竜川水系流域治水プロジェクトが発足した。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 天竜川水系における既存ダムの洪水調節機能強化に向けた取組について伺う。</p> <p>(2) 流域の開発が進んでいる安間川の河川整備計画の進捗状況について伺う。</p> <p>(3) 雨水貯留や地下浸透の施策について伺う。</p> <p>(4) 開発許可指導基準の見直しについて伺う。</p>	<p>高須土木部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>井熊都市整備部長</p>
4 交通事故の削減について	<p>交通事故の削減のために、関係機関や市民ぐるみで取り組んできたところであるが、人身交通事故は減少してきたとはいえ依然として高い水準にある。</p> <p>そこで、平成27年度から取り組んできた交通事故ワースト1脱出作戦の成果と今後の取組について伺う。</p>	<p>高須土木部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
5 地震・津波対策について	<p>(1) 馬込川河口での津波防潮水門工事の設計概要と津波抑制効果、津波防潮堤との整合性、巨大台風時の高潮に対する安全性はどうか伺う。</p> <p>(2) 南海トラフ巨大地震における、静岡県第4次被害想定を踏まえた対策について伺う。</p> <p>なお、津波の天竜川遡上はどのように予測されているのか伺う。</p>	小松危機管理監